



第13期

「京都教師塾」

平成31年4月13日

学びの広場

京都市教育委員会 教員養成支援室



第6回教育実践特別公開講座

「これからの学校教育～新学習指導要領の方向性～」

講師：学校指導課 島本 由紀 参与

最後の公開講座は、学校指導課の島本先生にお越しいただきました。100歳まで生きるであろう今の子どもたちがこれから生きる社会はどのような社会なのか、だからこそ教師は何を目指して教育していかねばならないのかについて、非常に考えさせられましたね。新学習指導要領の主な改善事項の具体もお話しくださり、最後には、よりよい先生をめざして、『学び』と『社会』をつなぐ『人づくりの職人』であってほしい」というメッセージをいただきました。

以下は、採用前研修として講座に参加した、4月から教壇に立つ卒塾生の感想です。皆さんの中からも、来年度、採用予定者として再会できることを心待ちにしています。

- 急激に変化する未来を想定して、そこで生きていける子どもたちを育てていかなければいけないことを痛感しました。主体的に学び、人間にしかない力を発揮できる子どもを育てられるように、主体的・対話的で深い学びなどの方法を使い、工夫して授業を行えるようにしたいです。
- これからの教育について「ジグソー型からレゴ型へ」という言葉が、とても心に残りました。1つの教科書、1時間の授業でどれだけ考えを広げていけるのか、これから教壇に立つ前、立ってからも学び続けていきたいと思います。また、「デビューした日から一人前」を常に意識していきたいなと思います。



第10回京都市教育学講座

「市民・地域とともに進める京都の教育改革～信頼される教員～」

講師：京都教師塾 高桑 三男 塾長

京都市教育学講座の総まとめとして、京都教師塾 高桑三男塾長にご講義いただきました。

改めて今、「どんな教員に成りたいか？」と問いかけられた時に、皆さんは何を思いましたか。

講義では、「教員を目指す人に求められるもの」「今、学校に求められるもの」「京都市の教育について」をお話しくださいました。第9回までの講義とつながる部分が多かったことと思います。また、まとめの中で伝えてくださった、「教育の主人公は子ども達」という言葉にはっとさせられた人もいたのではないのでしょうか。

分散会では、「京都教師塾での学びを通して、あなたはどんな教師になりたいですか？」をテーマに話し合いました。レポート集で第1回からの学びを振り返ったり、実地研修などで現場について学んだりしたことで、皆さんの目指す教師像は今、どのように変わったのでしょうか。グループアドバイザーの先生方からは、「各々の意見をしっかり発表していて、頼もしさを感じた」「以前より深い話ができていた」「声にも張りがあり、やる気に満ちあふれる姿が全員に見られた」「子どもたちのために頑張っていきたい」という思いが伝わってきた」等、数か月の間に大きく成長した皆さんのことを教えていただきました。また、レポート担当の先生方からいただいた毎回のコメントも、ぜひ今後役に立ててもらえたらと思います。本当によく頑張りましたね。これからも、初心を忘れることなく、謙虚に、学び続けていってください。



仲間のレポートに学ぶ

第10回京都市教育学講座「市民・地域とともに進める京都の教育改革」を受講して

1 全体会

今回の講座から、チームとしての学校についてと、生徒理解について学ぶことができました。まず「チーム学校」について、そのフレーズはよく聞きますが、いまいちよく分かっておらず、全教職員で協力し合うということしか頭にありませんでした。ですが、責任を押し付けず、学校で起きたことを自分ならどう関わられるのか、当事者として意識していかなければならないのだと気付くことができました。「担任の先生が対応するだろう」ではなく、養護教諭として何ができるのか、考えて行動していきたいと思いました。

そして「生徒理解」について、子ども一人一人の背景まで迫って、課題のある子どもに積極的に関わるとお話しされていたのを聞いて、私は養護教諭として、全校児童・生徒の背景をまずは知り、それを踏まえて丁寧に子どもたちと接するように頑張ろうと思いました。その子について詳しく知っているからこそ見えてくるものもあると思うので、意識していこうと思います。そして、そこで気付いたことを自分だけに止めず、担任の先生などと連携して教職員全員で子どもたちを見守れるようにしていきたいです。

2 分散会

分散会ではペアで、自分の教師像と課題について話しました。私は一人一人の心に寄り添うことができる先生を挙げ、そのために丁寧に接すること、他に専門的な知識を増やすことと連携をきっちりと行うことを課題としました。他にもたくさんの課題がありますが、養護教諭として信頼を得ていくためには、それらは必要不可欠だと思うので、これらの課題はずっと心に残して取り組んでいきたいです。

3 まとめ

全体会の冒頭にもあったように、どんな教員になりたいのか、どんな子どもを育てたいのか、明確に持っていることは本当に大事だと思います。今日考えたこと、話したことは忘れずに、時には初心に帰りながらこれから頑張っていこうと思います。

「高い専門性を持ち、一人一人の心に寄り添える教師を目指す」子どもが毎日、目を輝かせて成長していく姿は、教師にとってどんな困難も乗り越えていこうとする力になりますね。「実践なき理論は空虚なり、理論なき実践は無謀なり」～学んだことは実践して初めて意味を持つ、また理論に根差さない実践は無謀という～これからも学び続け、目指す先生になることを期待します。

第10回の様子

☆グループアドバイザーの先生方に、大変お世話になりました！

